

画像工学同窓会会報

会長挨拶

2021年に多くの方からの後押しをいただき、画像工学同窓会の会長を引き受けさせていただくことになり、早くも4年近くの月日が経過しました。2期4年間、会長を務めさせていただく中で、今回のご挨拶文も4回目となりました。このタイミングで、1回目にかかせていただいた時からこの4年間の挨拶文と出来事を振り返ってみました。

当時はコロナ禍でもあり、その上、「画像」という名を冠した学科名も大学からなくなり、同窓会としても大きな転換点を迎えたタイミングでした。これまでのように、同窓生を特定することができなくなってしまったことで、会費収入も年々減少となり、資金面での同窓会の継続が資金的にも苦しい状況になってきた時期でもありました。

この4年間、大きく以下の新たな取り組みを取り入れることで、会費減少に歯止めをかけ、長期的に安心して運営できる入金面での施作や、大幅な経費削減、活性化などに力を入れてきました。

- (1) 郵便振替に加えて、銀行振込やクレジットカード払いなどの支払い方法の追加
- (2) 自動継続課金機能の追加
- (3) 会報誌やウェブサイトへの協賛金エリアの追加
- (4) CD勉強会の主催
- (5) 会報誌のWEB化（会報誌がきっかけで会費支払いをしてくださった方のみ誌面送付の継続）

まだまだ、資金的な持続可能性には大きな心配がありますが、これら

の取り組みにより、長期的な目線で画像工学同窓会の運営を考えていけるような体制が整ってきました。

ここから、いよいよ、未来の画像工学同窓会について我々同窓生が、主体的にあり方を模索していくタイミングになってきました。同窓生が集うということには、昔の友とあらためて出会う機会が暮らしを充実させ、また新たな出会いのきっかけも生み、研究や仕事上の相乗効果をもたらす可能性があります。

また、千葉大学や現役大学生に貢献することで、千葉大学を卒業して良かった、家族親戚にも千葉大学の入学を勧めたい、そんな気持ちの連鎖が母校千葉大学を取り巻く環境に生まれ、我々の誇りにもなります。

何よりも、仲間と集う時間をわくわくと楽しめる、また来年も集いたい、と思えるような同窓会にしていくために、多くの同窓生が集う、画像工学同窓会にしていきましょう。

いま画像工学同窓会が実現できていることを活かし、次期の幹事会には、同窓会運営に積極的なメンバーの就任や、画像工学同窓会の存続の必要性の積極的な議論を期待します。

未熟な部分が多い運営体制だった中で、会を盛り上げてくださり大変感謝申し上げます。

学部卒業年：平成14年 虎岩雅明



画像工学同窓会 総会・懇親会・技術講演会のお知らせ

令和7年度の定時総会を例年同様、開催いたします。ぜひ、皆様お誘い合わせのうえ、ご出席くださいますよう、ご案内申し上げます。なお、総会・懇親会ともに、ご参加の有無を同封の振込用紙にご記入またはウェブサイトよりご連絡いただけますようお願い申し上げます。

日にち 2025年2月20日(木)15時30分から(15時開場)

場所 サンシャインシティ コンファレンスルーム ルーム1



※最新情報は、画像同窓会Webサイトをご覧ください。
画像同窓会Webサイト: <https://gazo-chiba-u.jp/>

技術講演会

時間:15:30~16:10
講演:佐藤 弘美 助教
参加費:無料

令和6年度 定期総会

時間:16:15~16:45
議題:令和6年度事業報告、会計報告
令和7年度事業計画、予算案
参加費:無料

懇親会

時間:17:00ころから
参加費:5,000円

情報・データサイエンス学府・学部始動

2024年4月に、情報・データサイエンス学府／学部が新設されました。それに伴い、工学研究院情報科学コースとイメージング科学コースの教員は情報学研究院所属となりました。加えて、医療・看護分野では、片桐諒子教授、華井明子准教授、石坂晴奈助教、實石幸穂助教が新たに着任しました。イメージング科学分野では田中緑准教授が国際教養学部から、デザイン分野では Chacon Quintero Juan Carlos 助教と Hisa Nimi 助教がデザインコースから異動してきました。その他、人文科学やリモートセンシング、園芸分野との連携もとりながら、情報・データサイエンスをキーワードに幅広い教育・研究を行っていきます。

学部の画像工学関連科目については、1年生でマルチメ

ディア工学入門、2年生でカラーサイエンス、デジタル画像処理、視覚情報処理、3年生でヒューマンインタフェース、コンピュータグラフィックス、感覚・知覚測定法、生体情報工学等が開講され、より系統的に学ぶことができるカリキュラムが準備されています。大学院博士後期課程は情報・データサイエンス学府に移行しましたが、博士前期課程は新学部1年生の卒業に合わせて設置されます。したがって、しばらくは大学院融合理工学府イメージング科学コースとしての教育・研究は続きます。

情報・データサイエンス学部・学府 URL:

<https://informatics.chiba-u.jp/>

イメージング科学コースの近況

墨田キャンパスのデザイン・リサーチ・インスティテュート (dri) で開講しているコレクティブデザイン関連の講義と演習には、本コースの学生も毎年参加しており、建築学、デザインの学生と協力してプロジェクションマッピング、バーチャル・リアリティ等のプロジェクトに取り組んでいます。イメージング科学コースの研究室合同の卒業研究中間発表会など、研究室の垣根を超えた交流も継続しています。国際交流については、学生や教員の派遣や受入がコロナ禍前の水準に戻りつつあります。画像・情報系の国際学生交流プログラムであるアジア学生ワークショップ (ASW) でも、夏休みに学生をアジア各国に派遣しました。2022~2024年度実施の日本学術振興会研究拠点形成事業 B 「グローバル感性イメージング科学技術のアジア拠点形成」(代表: 溝上陽子教授) では、2023年度に3つの国際会議で関連セッションを実施し、2024年度も学会セッション、セミナー、研究者・学生の交流が企画されています。また、豊橋技術科学大学と欧州の大学による「IMLEX 光イメージング情報学国際修士プログラム」の協力校として修論学生を受け入れたり、浙江大学の学生を受け入れて Imaging Sciences Workshop を開催したりと、活発な交流をしています。

教員に関わる大きなニュースとして、2023年12月に堀内隆彦教授が日本色彩学会会長に就任しました。さらに、元千葉大学教授の富永昌二先生が「蛍光物体の測色と画像再現の研究」の業績に対して令和6年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞(研究部門)を受賞しました。6月に開催された日本色彩学会第55回全国大会では、受賞記念講演が行われました。



工学・情報学系講義棟



管理棟工学部、情報データサイエンス学部

※イメージング科学コース URL:

<https://www.tj.chiba-u.jp/imgsci/index.html>

工学・情報学系新講義棟完成、工学部棟の改修状況

工学系施設の老朽化に伴い、整備計画が進んでいます。新しい工学・情報学系講義棟は無事に完成し、10月より利用が開始されました。1～2階に渡るイノベーションシアターは収容数300名程度の大教室であり、3～4階には合計5つの講義室が配置されています。工学部棟も順次改修が行われており、現在10号棟の改修が終了し、次に7号棟の改修工事が開始する予定です。



改修後10号棟

メンバーの作品展に合わせクラス会

長谷川氏（関西在住）の二科展上京に合わせて、久々に印刷工学科73Tのクラス会を東京・新橋の居酒屋で行いました。私たちの代も多くが70歳を超し、体調が心配なメンバーが増え、参加者は、新海、西島、長谷川、村上、横関、渡辺、藤森の7人でした。

コロナ明け、久々でしたので3時間飲み放題で盛り上がりました。（藤森博、印刷工学科、昭和52年卒、株式会社ビスタス・ジャパン代表）



千葉大学印刷工学科73Tクラス会 2024年4月20日



2024年1月28日、東京・錦糸町駅近く、李湘潭湘菜館にて

先生をお迎えして17人が参集

もともと「錦糸町会」として、山岡先生、郭さん、小柳さん、村田さんで懇親会を行っていましたが、今年は拡大版で村田さん（昭和62年印刷工学専攻修了）が幹事として、期の近い先輩～後輩に声かけして、総勢17人が集まりました。卒業以来、初めて会う方も多く、盛会のうちにお開きとなりました。（森重恭、昭和61年、画像応用工学科卒）



京都・四条のレストラン「キエフ」にて

関西支部7月に恒例の総会・懇親会

恒例の千葉大学画像工学同窓会関西支部の総会、懇親会が7月15日（海の日）、いつもの京都・四条のレストラン「キエフ」で開かれました。参加人数は少ないイメージでしたが、それでも結局は、昔話と近況報告に華が咲くのでした。

岩田克彦 元会長逝去

画像工学同窓会の元会長の岩田克彦さん（大同印刷会長）が6月26日、お亡くなりになりました。享年86歳。

同窓会からは、お花をお送りました。



小林範久教授 最終講義のお知らせ

長年にわたり、千葉大学工学部画像系学科において教育・研究に携わられてこられた小林範久教授が2025年3月をもちまして定年ご退職となります。小林先生は1987年に千葉大学工学部画像工学科へ着任されたのち、情報画像工学科、画像科学科、現・物質科学コースにおいて画像関連材料・デバイスの研究を進めてこられました。電気化学的手法を用いた表示素子、発光素子を数多く報告され、中でもフルカラーの反射型表示が可能なエレクトロクロミック素子に関する研究は、各種学会での受賞など国内外で高い評価を得ています。

小林先生のコース主催の最終講義を2025年3月5日(水)午後12時に千葉大学けやき会館大ホール(西千葉キャンパス内)において開催いたします。詳細は工学部物質科学コースのHP等でお知らせする予定です。画像工学同窓会の皆様のご来場をお待ちしております。

<https://www.tp.chiba-u.jp/ms/>



協賛金バナー設置のお願い

画像工学同窓会では現在、同窓会運営財源確保と同窓会相互のコミュニティ等を図ることを目的として、卒業生が在籍する企業・団体を対象に、バナー広告の掲載を承っております。

WEB枠

- ・バナー広告掲載料 10,000円
- ・設置内容 トップページにバナー広告が掲載されます。バナーをクリックすることで広告主様ホームページに進むことができます。
- ・掲載期間 2026年1月まで

会報枠

- ・バナー広告掲載料 50,000円
 - ・設置内容 会報にバナー広告が掲載されます。
 - ・掲載 2025年末発行予定の会報誌
- ※お支払い方法は「クレジット決済」または「銀行振込」となります。



詳細はウェブサイトをご確認ください。
<https://gazo-chiba-u.jp/ad-banner/>

担当事務局 千葉大学画像工学同窓会事務局 株式会社エイピス内
〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉2-1-8-401
TEL:043-241-8788

年会費納入のお願い

会費発行などの同窓会の活動は、主に会員の皆様からの年会費で賄われております。正会員の皆様には、同窓会が母校を支え、会員相互の親睦を支える事業を継続・発展できますよう、同封の振込用紙にて年会費(1,000円)をご納入の程、お願い申し上げます。また、Web決済・銀行振込をご利用の場合は、下記URLより「会費・会報」のお手続きへお進みください。

画像同窓会 会費・ご寄付のお願い

<https://gazo-chiba-u.jp/donation/>



なお、情報画像工学科の卒業生の皆様には在学時の所属コース、研究室に関わらず、全員にお送りしておりますので、ご了承ください。

また、2023年11月～2024年10月までの寄付者一覧はウェブサイトからご確認ください。<https://gazo-chiba-u.jp/donar>

協 賛

Webサイト <https://gazo-chiba-u.jp/>

次年度以降の会報に協賛広告を募集中です。みんなで同窓会を盛り上げましょう(詳細はWebを参照ください)



印刷学会出版部
JAPANPRINTER



人と人をつなぐ
Apice